

令和元年度の収入支出決算

健康保険

令和元年度は医療費総額では減少しておりますが、依然として高齢者への納付金の負担増から赤字となりました。

主な状況は、被保険者数が前年度より年平均で465人増加しましたが、平均標準報酬月額が1,322円の減となり、賞与の一人当たり金額は43,645円の減少となりました。

また、医療費の一人当たり金額は被保険者で4,119円増、被扶養者では2,618円の減となり高額療養費や高齢者給付費、付加給付費を含めた総体では1,596円(前年比-0.8%)の支出額が減少しましたが、高齢者への納付金一人当たり金額は31,204円(前年比+18%)増となったことから、準備金より繰入し、経常収支差引額では68,793千円の赤字で決算残金は268,807千円となりました。

主な収入

健康保険収入

被保険者のみなさんと事業主から納めていただいている健康保険料です。
4,211,841千円で、収入全体の91.4%を占めています。

繰入金

法定準備金より219,349千円繰入しました。収入全体の4.76%です。

主な支出

事務費

当健康保険組合事務局の運営にかかる諸経費と組合会関係費で72,859千円で、支出全体の1.68%でした。

保険給付費

みなさんやご家族の方が病気や怪我をしたときの医療費、傷病手当金・出産育児一時金といった各種現金給付等に充てられる費用です。1,961,495千円で、支出全体の45.0%を占めております。

納付金

高齢者医療制度等に拠出するための支出で、2,047,035円でした。

★前期高齢者納付金(65～74歳までの方の医療費を支えるために)

★後期高齢者支援金(75歳以上の方が加入する後期高齢者医療制度へ)

★退職者給付拠出金(退職者の方の医療費を支えるために)

これらは支出全体の47.0%となり保険給付費と合わせると支出全体の92.0%を占めております。

保健事業費

人間ドック等健康診査を中心とした保健事業では、198,169千円で支出全体の4.5%でした。

介護保険

当健康保険組合が国に納付する介護給付費が388,480千円で、30年度より44,752千円の増となっております。

決算残金処分

一般勘定

●準備金繰入	268,701千円
●財政調整事業繰越金	106千円

介護勘定

●準備金繰入	12,502千円
--------	----------

今後も、健康経営優良法人への認定及び、データヘルス事業による効果的な保健事業等、事業所や加入者の皆さんの協力のもと、保険者機能を十分に発揮できるよう一層の取り組みを行ってまいります。引き続き、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。